

国家公務員制度に関する勉強会 議事要旨

1. 日時等 令和4年7月8日(金) 10:00 ~ 12:05

※オンライン開催

2. 出席委員

芦立 秀朗 京都産業大学法学部法政策学科教授
出雲 明子 明治大学専門職大学院ガバナンス研究科教授
(座長) 伊藤 正次 東京都立大学大学院法学政治学研究科教授
北島 周作 東北大学大学院法学研究科教授
竹内 寿 早稲田大学法学学術院教授
林 知更 東京大学社会科学研究所教授
※曾我部真裕委員(京都大学大学院法学研究科教授)は欠席。
※所属・役職は7/8時点

3. 議事次第

①令和3年度年次報告書・特別テーマについて

②委員から御発表

出雲委員「公務員制度の課題、人材育成の方向性」

北島委員「テレワーク等の柔軟な働き方に対応した勤務時間制度等の在り方に関する研究会」について

林 委員「公務員制度の変遷と憲法—いくつかの感想」

4. 概要

○ 事務局から、令和3年度年次報告書・特別テーマについて説明

○ 出雲委員、北島委員、林委員から御発表

※人事院ホームページに資料を掲載

○ 各委員の御発表後、質疑応答を実施。その主な内容は以下のとおり。

- ・ 職員のキャリア構築の在り方について質問がなされ、職員の性別や採用職種によってキャリア構築の在り方が異なると推定される旨の回答があった。
- ・ 人事院の「テレワーク等の柔軟な働き方に対応した勤務時間制度等の在り方に関する研究会」が発足した経緯について、質問がなされ、昨年8月の人事院勧告時の報告で、テレワーク、フレックスタイム制などの柔軟な働き方について検討する旨の表明がなされた経緯がある旨の回答があった。
- ・ 政治的リーダーシップの在り方について、質問がなされ、現代においては政治的リーダーシップの発揮が期待されている一方、そのリーダーシップが国民主権や民主政との関係において一定の合理性も踏まえなければならぬ旨の回答があった。

以 上